

国民健康保険の
広域化に伴う
対応について問う！



鶴貝 大祐
議員

問 国民健康保険は平成30年度から県と市の共同運営に移行するが、加入者の保険料負担にどのような影響があるのか。また、保険料の大幅な変動を避けるためにどのような対策を講じるのか。

生活環境部長 この制度改正に伴い、各市町からの納付金が県全体の医療給付費の財源となり、市町では県への納付金を賄えるよう保険料を定めることとなる。この納付金の確定は平成30年1月以降となるが、被保険者負担の影響を極力抑制するよう努めていきたい。

◆いちご一会とちぎ国体

問 ソフトボールの競技会場となる本市総合運動場の硬式野球場については、トイレやスコアボードに関する市民の改修要望が多い。国体の開催を機に、施設の更新を図るべきと考えるがどうか。

教育次長 硬式野球場の改修については、国体に向けた施設整備に合わせ、施設の長寿命化やユニバーサルデザインを図るなど、国体開催後も広く市民が活用できる施設となるよう、国体に関する補助金の中で、国や県へ要望していきたい。



▲硬式野球場の外観

与がチャンス！

観光都市宣言



柳 収一郎
議員

問 平成30年春のデスティネーションキャンペーンや、新駅の開設、東京オリンピック・パラリンピック、とちぎ国体など、観光への機運が高まる今こそ、観光都市宣言を行う絶好のチャンスであると考えるがどうか。

市長 どんな物事もタイミング、時の流れに乗ることが大切な視点だと思っている。本市にもたくさんのお客さんがお越しになるであろうイベントが続き、観光面での機運の高まりが確実にあると思う。市民や議会と議論しながら、一番いいタイミングを考えていきたい。

◆斎場の再整備計画

問 斎場の会葬者は高齢者が比較的多いことから、再整備に当たっては、式場や待合室にできる限り椅子を用意し、座れるよう配慮すべきと考えるがどうか。

生活環境部長 斎場再整備基本構想では、高齢者や障がいをお持ちの方にも安心して利用いただける斎場にしていくことを基本方針で明記している。その方針に沿って、式場や待合室にできる限り椅子を用意できるように検討していきたい。



▲足利市斎場

3世代同居・近居に
支援を！



大島 綾
議員

問 親と子、孫の3世代同居や近居は定住人口増加策としてのみならず、子育てや介護などの支え合いの促進にもつながることから、支援策を講じて推進すべきではないか。

政策推進部長 3世代同居等の促進には人口構成の変化や価値観の多様化などの難しい背景もあるが、県内自治体で支援策を導入する動きもあることから、本市も国の動向や先進市の事例などを参考にし、総合的な観点から研究していく。

◆お試しサテライトオフィス

問 IT企業等の誘致には本市の魅力を知っていただく取り組みが必要と考えるが、空き店舗等を利用したお試しサテライトオフィスを設置してはどうか。

政策推進部長 情報通信網の進展により、時間や場所に縛られない働き方が可能となってきた。そうした働き方に加え、ITやサービス産業は都市部と同じ仕事ができ、定住人口の増加にもつながる。御提案のお試しサテライトオフィスについては、本市としても将来を見据え、情報収集を行い研究していく。

